

3 年 生 講 座 概 要

講座【講師】	概 要
No.1 共通テスト 英語長文 【山田（智）】	共通テストの英語は問題文を含めて全て英語化されました。さらに、広告文、レシピ、SNS やホームページの批評、ディベート、英作文訂正、図表、詩、小説、評論など、多岐にわたって長文が出題されます。先の見えない共通テスト対策…実はしっかりやれば確実に点数が上がっていきます！対策すれば不安は軽減されるぞ！？英語は得点減なんかではない！得点源だ！大学まで使える英語力を身に付けてもらおうぞ！単語・熟語・文法についてもお話ししていきます！
No.2 共通テスト リスニング 【木村】	リスニングの力を高めるために大切なことは大きく3つあります。一つは「聞くこと」、もう一つは「聞き返すこと」、そして最後に「続けること」です。授業では実戦的な問題を集中して解いてもらったあとでそれをすぐに聞き返しをして間違いを確認しながら聞く力を高めていきます。またそのときに知らない表現も覚えていきます。 リスニングは運動習慣のようなところがあると思っています。どんなときも授業に出て聞き続けるようにしましょう。こつこつと続けていくと最初の頃は思いもしなかったくらい英語を聞き取ることができるようになりますよ。
No.3 共通テスト 数学Ⅰ・A 【山田（貴）】 No.4 共通テスト 数学Ⅱ・B・C 【牧田】	共通テストの数学は計算力だけでなく、文章問題の読解力や様々な解法を知っていること、グラフに対する知識など、多くのことが要求され、マーク形式とはいえ侮れない難易度になっています。 そんな数学においてまず初めに必要なことは、最低限基本的な解法を覚えて使えるようになることです。そのためにも、解法のポイントとそれを使うきっかけを抑えた上で演習を重ねる必要があります。解法そのものは答えを見ればわかります。しかし、使うタイミングやきっかけはそうはいきません。この講座では過去問演習を通して、そこを解決させます。
No.5 共通テスト現代文 【山田（智）】	共通テスト開始以来、国語は幾度も大きな変革を迎えました。どの問題にも共通することは複数のテキストを一気に読まされる問題が出題されるようになりました。しかも傍線部は必ずあるわけではなくなりました。また、教師が他の文献から他の題材を持ってきて生徒に議論させるという大変複雑な問題が出題され、国語は「超」難解レベルとなりました（センター試験の時代と比べると平均点は200点中40点以上下がっている）。具体的に大問1は評論や随筆、論理的な思考を問う文章、図表や資料を含んだ問題が出題されるようになりました。大問2は小説、随筆、だけではなく、なんと！！詩の解釈の問題が出るようになりました。「そんなの作者に聞かないと答えなんて分からんじゃないか！」そう思う人も多いと思います。「本を読めば良いの？」、「今まで本を読んで来なかったから間に合わないんじゃないの？」そんな声が聞こえてきます。が！！そんなことはどうでも良いです。読書は全く関係ないです！それは授業に出てもらえば分かります！ そして、2025年入試からは大問3が新規問題（資料、統計、データから考える問いが出題）として新設されました（古文が大問4、漢文は大問5へと変更）。それでいて試験時間は従来の80分から90分に…。大問が1つ増加したにもかかわらず、10分しか解く時間が増えないのです。そのため、いかに効率よく文章を読んでいくか？が大切になってきました。この授業では各設問・ジャンル別に要点やテクニックを伝授！これであなたの国語力は最強に開花します。

No. 6 共通テスト古文 【山田（智）】	古文はどうやって読むのか？単語・文法…やらなければならないことが盛りだくさんです。例えば、ただ単に単語を見て、助動詞を照らし合わせて、訳してみたとする。そうすると、大半の文章はまるで日本語とは思えない「グロテスクな文章」になってしまうことが分かる。なぜか？それは解釈できたのではなく、実はただ「訳した」だけ。もっと言うと「作業」をしただけであって、実は何も「解釈できていない」のだ。また、古文の現代語訳を見ると「」（カッコ）がたくさん書かれている。それは、（ ）の中身が省略されているということを示している。つまり、古文は穴だらけの教科なのだ。空欄補充問題が永遠に続くのだ。だとしたら、君たちが行わなければならないのは何かということが自ずとわかってくるだろう。そう、君たちは「省略」の逆、すなわち「復元」を行うのだ。では、「どうやって主語を補うのか？」、「どうやって目的語を補うのか？」簡単な方法を授業にて紹介します。受講して損はさせないぞ！文法や単語はこう「使う」んだ！ということを伝授。君は得点減？それとも得点源？
No. 7 物理 【兼松】	物理は分野も多く分野ごとに使う公式も違うため、学習が進めば進むほど以前の単元の内容を忘れてしまい応用問題どころではなくなってしまう人も少なくないでしょう。 では、公式などを忘れないためにはどうすればよいのだろうか。それは公式をただの式として見るのではなく公式のもつ意味を理解することが重要になってきます。 この講座では、公式のもつ意味や性質の説明から始め、標準問題を用いてそれらをどのように活用するのかの解説を行います。 たとえ発展問題になったとしても公式の活用の仕方は基本変わらないので、この講座で学ぶことをしっかり押さえられれば、共通テストレベルの問題だけでなく記述テストレベルの問題まで解けるようになるでしょう。
No. 8 化学 (理論編・有機編) 【村瀬・山田（貴）】	化学という科目は、化学理論の深い理解、緻密な暗記、化学の計算問題の十分な練習といった多方面の能力を必要とし、理科の中でも勉強量が非常に多い科目です。さらに最近の入試では、「問題文から必要な情報を読み取り、整理すること」も求められます。必要な情報をしっかり読み解けば、なんでもない問題のこともあります。そのためにはきちんとした理論の理解、正確な知識を限られた期間の中で定着させなければなりません。 この講座では実際の入試問題の演習を通して、膨大な知識を効率よく整理し、化学理論を十分な演習によって定着させます。さらに問題文をどのように読み解き、そこから集まる情報をどのように整理していくかなど、解くために必要なテクニックを伝授します。この授業を受ければ厳しい化学の勉強に展望が開けること間違いなし！ また、週2回の授業で理論化学の演習と無機化学・有機化学を並行して進めていくので、受験勉強を中心としながらも、学校での定期テスト対策にも役立ちます。
No. 9 生物 【北出】	この講座では共通テストレベルから記述試験レベルまでの問題演習と解説をしていきます。 生物は、高校理科の中でも近年内容の増加や高度化が著しい科目の一つです。それ故に、学校の授業だけでは理解しきれない単語や概念が多くなりやすいです。ですがそれらをすべて丸暗記で挑もうとすると、あまりの膨大さに圧倒されてしまいます。各單元ごとに要点を絞って解説していきますので、一緒に効率よく理解していきましょう。 また、様々な問題のタイプごとに、どうやって考えたらよいかを1から解説していきます。司式だけで解けない思考力を要求する問題の解き方や、文章の書き方なども解説していきますので、一緒に生物を得意科目へと変えていきましょう。

No.1 0 化学基礎 【山田（貴）】 生物基礎 【北出】	化学基礎は暗記分野も少なくないですが、やはり計算問題が多くを占めています。この講座では、暗記分野の復習はもちろん、苦手としている人の多い量的計算を誰でもできるよう体系化していきます。 夏の内に共通テストレベルの問題に自信をつけておくことは、夏以降余裕ができ、ぐっと楽になります。共通テストは初めのうちは難しく感じますが、演習を積みば誰でも確実にできるようになります。一緒に頑張りましょう！ 基礎と言っても内容は非常に高度なものになっています。そのためこの講座では、異化同化・DNA・体の恒常性など、皆さんに興味を持ってもらうよう、最新の研究などを活かしながら、丁寧に解説していきます。生物は楽しい科目です！一緒に頑張りましょう！！
No.1 1 日本史 【安江】	通史を教科書よりも分かりやすく、参考書よりも簡潔に説明していきます。そのことで流れを鮮明にしていきましょう。また、内容定着を図ると同時に難関私大の対策の一環として過去問を用います。 流れと単語をインプット、アウトプット両面から皆さんをサポートします。一人ではなかなか始められないという人から難関大学を狙う人まで受講をおすすめします！
No.1 2 世界史 【石鳥】	夏休みは中国史を極めるぞ！！ということで、中国の全王朝および周辺史（学校ではやらない朝鮮史含む）を完璧にします。さらに14世紀以降のイスラーム史、具体的には受験生が苦手としているティムール朝、サファールヴィー朝、ムガル帝国、オスマン帝国の講義を行います。 夏が終わる頃、君たちは中国史が得点源となるはず！！授業で会いましょう！
No.1 3 2次英語（S） 【木村】 No.1 4 2次英語（H） 【木村】	2次英語（S）（H）では私大入試や国立大学2次試験の英文にも対応できる英語力を身に付けることを目的としています。授業内容の中心は、ある程度まとまった量の英文を読み解いていくことになります。英文にはわからないことがないようにしっかりとした解説を付けます。また、一度読んだ英文をやりっぱなしにしないように確認のテストをすることで着実に英語力を磨いていきます。「2次難関英語」では、それに加えてもう一段上の、いわゆる難構文を含む文章を扱っていきます。最初は面食らうこともあるかもしれませんが、諦めずにくらくらいついてほしいと思っています。他の受験生には負けない英語力が身についてくるはずですよ。一方、「2次英語」では長文を中心として、基本的な構文力を身に付けるための教材も使用していきます。長文の演習と文法的学習を組み合わせることで英語の力を着実に上げていきます。
No.1 5 2次数学（S） 【酒井田】 No.1 6 2次数学（H） 【村瀬】	国立大学を目指すクラスです。授業では3月の段階から既習分野を中心に大学入試問題を解いていきます。十分な時間を使って「落とせない問題」と「差がつく問題」をバランスよく演習します。国立大学では数学の問題が記述形式であることがほとんどです。記述数学に要求されていることは、ただ答えを出すだけではなく、論理立てをし、説明しながら答えにたどり着けているのか、適切に公式や定理を使っているかを試されているのです。答えがあっても満点がもらえるというわけではなく、逆に答えが違っていても、過程があてれば、確実に部分点がもらえます。そこで、普段の勉強の中で意識してほしいことを2つあげておきます。 1つ目は、どの定理、どんな考え方によって解答まで導くかを明記することです。証明問題などで「以下、数学的帰納法で示す。」といった記述を先に明記しておくことで、自分が何を使って解答を導くのかを採点者が理解して採点してくれます。その一文を加えることで部分点がもらえる可能性があります。受験では合格、不合格は1点差で決まらねないので執念で1点でも多くとることを目指して取り組んでください。 2つ目は、解答は読みやすい字で書くことです。採点者は膨大な数の受験生の解答を読んで採点しています。何人もの採点をしてきた中で読みづらい解答用紙が手元に来たら、マイナスの印象から始まり、点数が多くもらえることはないかもしれません。採点者に配慮のある字で丁寧に書くことをお薦めします。 数学の問題を解くためには演習をして解き方に慣れていくことは勿論ですが、普段から2つを意識して解くとよいと思います。参考になれば是非実践してみてください。最後まで粘り強く1点でも多くとれるように頑張ってください！

No.1 7 数Ⅲ 【兼松】	国公立理系では多くの学部で数Ⅲが必須となっており、2 次試験では数Ⅲを中心に出题されます。しかし、長い間「数ⅠAⅡBC」に重点を置き、数Ⅲの演習に時間を充てられない受験生が少なくありません。十分な演習を積むためには、共通テスト対策と並行して行う必要があります。数学は教科書を読み、公式を覚えてだけでは解けるようにはなりません。「道筋をつける力」を演習によって培わなければいけません。数学にはこの力は必要不可欠なのです。 本講座は演習形式の講座で、例題の解説とその類題の演習を行います。1 講義あたり 2 時間という長い時間で行うことにより、各々の理解・進度に合わせて 1 問 1 問理解しながら進められるようサポートします。少しでも多くの問題を解くことで、問題のパターンとそれに対するアプローチの仕方を知り「道筋をつける力」をつけていきましょう。
No.1 8 国公立私大英文法 【山田（智）】	この講座は毎講座発音、アクセント、文法、語法、並び替えをやっていきます。ものすごい中身の濃い授業をします。文法を「これでもか!」というくらい勉強していきます。詰め込むのではなく、体系的に授業を行いますので、効率よく、何倍も楽しい授業を行います。リスニングにも活かせる授業。卒業生までもが「TOEIC、英検、大学の授業でも役に立っています!」といってくれています。毎年同じ問題が各大学で出題されています。これは取るしかないぞ!
No.1 9 中堅私大英語 【山田（智）】	今回は南山、愛知、椙山、名外大、名芸、学芸、中部、中京、名城、愛知淑徳、金城学院、岐阜聖徳等、地元の基礎・標準レベルが解けるようになる訓練を徹底的にしていきます。文法は、「品詞別」に戻って総復習をします。読解問題は基礎、標準的問題を取り扱い、語源や頻出単語、熟語だけではなく読解の真髄を伝えていきます。また、私大や一部の国公立でも頻出の長めの会話文も取り入れて、4 日間でこれだけ得していいいんですか?と思われるくらい充実した知識の復習になると思います。英語が苦手な人も大歓迎!得意になる前に、好きにならなくっちゃ!<u>1・2 年の復習も入りますので戻り学習としても最適!超出る予想問題の配布もします!</u> ※基礎から行いたいため、今回だけはそんなに難しい問題は入れません。ご了承ください。
No.2 0 難関大英語 【木村】	夏期講習の「難関大英語」では、実戦的な長文と英文法の問題と演習をしていきます。長文、文法ともに中堅大学以上の国公立や私立大学の受験過去問を扱う予定ですが、解説は丁寧に行いますので、しっかりとした復習(読み返し・解きなおし)をするという前提であれば、今まだそのレベルに達していないという自覚のある生徒のみなさんでも参加してもらって構いません。集中して解く⇒解説を聞いて理解する⇒復習するというプロセスを一つでも多く積み上げることが英語の自信と実力をつける近道です。 夏は長いようで短いです。しかしここで集中して学習をすればみのりは大きいです。秋からの実力の伸びが変わってきます。ともに頑張りましょう。
No.2 1 標準総合数学 【村瀬】	大学入試における数学を突破するためには、基本事項の定着とその運用力が不可欠です。標準総合数学では大学入学共通テスト数学・私立大学で出題されるⅠAⅡBC の全分野(複素数平面・確率分布は除く)の総整理をし、実戦演習を行います。頻出の項目をもれなく学習し、マーク形式・私立大学の形式問題を含むいろいろな出題形式の問題に慣れることにより、高い得点力を養成し、基本事項の総整理と解法対策の両面から大学入学共通テスト・私立大学を攻略します。
No.2 2 難関大数学 【酒井田】	旧帝大をはじめとする難関国公立大・難関私立大志望者に向けた数学ⅠAⅡB+ベクトルに重点を置いた受験対策講座です。難関大の過去問に実際に取り組みながら、必要な知識や問題を解くための着眼点、考え方、指針の中の優先順位や選択基準、困った時の手の動かし方など、問題を解くための定石を一通り学びます。アウトプットをせずして数学力の完成はありません。難関大数学講義を通じて、実際に自力で問題が解けるようになっていくのをぜひ実感してください。
No.2 3 2 次国語 (現代文・古文) 【山田（智）】	国公立二次、難関私大は記述が多く、難しいと思っている人が多いようだが、よく考えてみてほしい。共通テストの国語は○か×か?ですよね?1 問合っていたら 8 点、9 点、10 点、1 問間違ったら 0 点…ですよね。しかも共通テストは「最も適当なものを選べ」だから綺麗な「正解」はあまりない。では記述はどう?合っていたらその「部分」に点が入る。となるとだよ?記述は満点取れなくて良い。部分点のグレードを高められれば良いわけだ。であるならば受験生のみんな!変えて欲しい意識がある。マークは「易しい」、記述は「難しい」という形容詞は誤

	っている。「マークはマークすること自体が『楽』なのであって『簡単』では決してない。(なんなら国語は共通テストが一番難しいとさえ思っている) 記述は『難し』くはない。『めんどい』なんだ。」その面倒くさを軽減するのが私の仕事だ。いいか？自分で書くから難しいんだ。大事なことは「●●を●って●●化させること」だ！では授業で会おう！
No.2 4 共テ物理 (力学編・波動編) 【山田（貴）・村瀬】	共通テストでは複雑な設定の問題は多くありませんが問題数と計算量は多いため、高得点を取るためにはテキパキと上手に解き進める必要があります。そのために必要なのは各分野の基本を確実に理解しておくことと、レスポンスを上げるための演習量です。 この講座では履修済み単元の中でも特に重要な「力学」と「波動」に絞り、種々の問題を通して書く分野の理解を深めつつ、解法に至るきっかけの掴み方を確認していきます。
No.2 5 共テ化学 (理論前編・後編) 【村瀬・山田（貴）】	大学入学共通テストの理論化学分野において高得点を獲得するためのベースとなる学力を身につける講座です。テキストで扱う演習問題は、過去の共通テストの分析をもとに、必要とされる知識・技能、そして思考力が確実に身につくように適切な問題を厳選しています。分野別の問題演習を通じて必要な知識や考え方を習得し、さらに、総合的な問題演習に取り組み、共通テスト特有の出題形式にも対応できる実戦力を身につけます。理解しやすいようにポイントを整理した解説講義を通して、各テーマの理解を深め、応用力と得点力を強化していきます。
No.2 6 共テ生物 (演習編) 【北出】	この講座では、様々な計算問題の演習と共通テスト過去問の解き方の解説を行います。多くの受験生にとって生物の計算問題はとても難しく感じるものですが、ほとんどの問題に複雑な計算能力は必要としません。必要なのは、どの数値をどう扱うかという情報を整理する力です。一緒に様々な問題を通じて整理する力を身につければ得点源に変えられるはずです。 過去問の解き方の解説では、実際に早く正確に解く方法を実演します。どういう点に注目しながら解いているか、どういう思考をしているかを説明しますので、真似をすることで時間に余裕が出るようになるはずです。一緒に共通テスト生物を得意科目に変えていきましょう。
No.2 7 小論文 (志望理由書&面接編) (通常編) 【山田（智）・安江】	小論文は、読書感想文とは異なります。では、どうすれば「書ける」ようになるのか？「情に訴える」のではなく「客観的に説得する」——これがキーワードです。 あとは、論理展開として「首尾一貫」しているかが勝負。「首尾一貫」実は、これが今回のテーマですね。「なんか小論文って難しい・・・」って思っている人いませんか？それ、おそらく、自分でハードル高くしてませんか？「小論文は、まず書いてみる！」よく、こう言われるでしょう。でもね、それいきなり書いても全くもって意味をなしませんよ。みんなでワイワイしながら、小論文を勉強していきませんか？若干のグループディスカッションもします。人見知りの人、大歓迎！！この授業が終わったら、おそらくみんな仲良くなっていますよ。<u>他予備校にはない新型授業形式です。</u> <u>※少人数で募集を締め切ります。</u>